



河原地区まちづくり協議会だより



河原地区まちづくり協議会（河原地区公民館内）鳥取市河原町長瀬45-1 ☎85-2959・fax85-2970

第12回

河原地区防災訓練実施



～地震及び土砂災害を想定しての避難訓練～

令和6年6月9日（土） 参加者463名

午前8時10分、鳥取県東部を震源とした震度6強の地震が発生。

家屋の倒壊及び土砂災害の発生の危険も想定されるため、午前8時30分に河原町総合支所災害対策本部から各部落に「避難指示」が出されたという設定で、防災訓練が行われました。

今年の防災訓練は、昨年に引き続き『黄色いハンカチ大作戦！』を実施。その後、各部落で決められた避難場所に集合し、河原芝公園に避難誘導。避難完了宣言を行った後、防災リーダーの方の指導で水消火器による初期消火訓練、（株）ヒマラヤによるテント設営・火起こし体験・防災に役立つキャンプ用品の展示、まちづくり協議会では、防災グッズ展示や非常食試食・豚汁と花苗の配布をおこなっていただきました。地震はいつ起こるかわかりません。毎年訓練を行い、いざという時に役立てましょう！

住民避難関係報告

部落名	避難者数	ハンカチ 揭示数
上渡一木	31	25/28
下渡一木	60	41/51
河原	67	106/179
谷一木	28	18/29
長瀬	52	36/50
袋河原	46	102/111
布袋	44	54/60
稲常	33	23/27
鮎ヶ丘	54	43/154
夢ヶ丘	19	8/29
合計	434	456/718

※ ハンカチ揭示数は718世帯中456世帯が揭示（63.5%）

第12回防災訓練を終えて

安全・安心のまちづくり部会長 川戸 洋次

今年一月一日発生しました能登半島地震から半年、災害は予期しないうちに自分に降りかかることが頭をよぎります。災害の規模、種類にもよりますが一人の力で出来る事は限られます。

第一に自分の身は自分で守る事が前提ですが、訓練を行う事は災害対応に関する知識、ノウハウを取得することや、災害対応を集団で実際にどうやっていくのかをイメージする事だと思います。

災害から身を守る為にも重要なトレーニングであり防災訓練を行う事でいざ災害が発生したらどう行動すべきなのか確認する事が出来ると考えます。

今回の防災訓練での反省点、アンケートによせられた御意見を踏まえ、今後の防災訓練向上のためにいかしていきたいと思ひます。

防災訓練に多数参加をいただき有難う御座いました。

実施後アンケートより

訓練にもっとも必要だと思われることや要望

- ・避難訓練は継続して行い、地域住民・自治会単位でみんなが協力して避難・支援行動ができる土壌を造成することがポイントとなる。
- ・各家庭で、連絡方法・避難方法を普段から話しあっておくことが重要。
- ・個々人の防災意識の高まりが必要とは感じるが「防災イベントには期待しない。
- ・事前の打ち合わせから本番まで2Wしかないため、打合せ会も少し早めにして欲しい(周知期間が短い)
- ・千代川氾濫を考えた避難の方が必要ではないかと思ひます。はっきりとした避難場所がわからない。
- ・防災無線が家の中を通っていない。(防災ラジオに替えた為)
- ・この訓練がこの先どのように活用されていくのかを明確にする必要があると思う。いつまで訓練を行い、方法が固まったら、実際に災害が発生した時に活用することを明確にすべきでは！
- ・避難情報カードの記入欄でハンカチ揭示数と安否確認・完了時刻が近く、見落としやすい(下の枠が広すぎ改善案添付)
- ・訓練後、各地域に戻り、新しい情報に基づいた防災講習等(講習のメニューを事前に検討・提案して欲しい)
- ・避難行動をなぞることに意義があり、被災時の訓練行動としては、緊張感がないので限界があると考えます。
- ・今回の訓練では、災害時在宅者数は、部落民全員の数を記入しました。現実問題として、本当の災害があった場合在宅者数を確認するのは、相当時間がかかると思ひます。

防災無線が聞こえなかったとの意見が多数ありましたが、実際に災害が起こった時は、防災ラジオと屋外放送と両方から流れますので、ご安心下さい！！



第12回

河原地区防災訓練



花いっぱい運動



公民館の玄関先に花苗を植えました。スイレン鉢には、めだかの赤ちゃんが泳いでいますよ！ぜひ見に来て下さいね！

消火訓練！

